

# 市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会議長様  
-7.8.22  
第 号

令和7年8月22日

会派名 政友会  
7 番議員 氏名 加藤 智章

|        |  |
|--------|--|
| 質問題名   | 人口減少社会を見据えた「地域分権型まちづくり」  |
| 質問要旨   | 人口減少が確実に進む中、地域住民のニーズに応える迅速かつ柔軟な行政サービスの維持はますます困難となりつつあります。今後は地域ごとの諸問題の解決をすべて行政に一任するのではなく、地域住民が主体となって解決にあたることが求められます。<br>行政が担うべき業務と、地域住民や地域組織が主体的に担うべき活動の切り分けをどのように整理・明確化していくのか。地域の課題解決に住民が主体的に参加できるようにするために、市としてどのような支援策や仕組みづくりを進めていくのかを探るべくお伺いいたします。 |
| 質問項目①  | 人口減少が確実に進み、行政サービスの担い手も減る中、行政だけではカバーできない分野をどのように対応されるお考えですか？  |
| 質問項目②  | 行政のみに依存するのではなく、地域住民が主体となってまちづくりを進めていくけるような仕組みを作るうえで、行政が果たすべき役割はどのようなものであると考えますか。   |
| 質問項目③  | 校区を単位としたコミュニティは特に重要と考えますが、そうした組織に対する本市の支援体制をどのように捉えていますか？  |
| 質問項目④  | 政策効果について、地域別で判断していくような指標が必要と考えますがいかがですか？   |
| 質問項目⑤  |  |
| 質問の相手方 | 企画部、環境文化部  |